

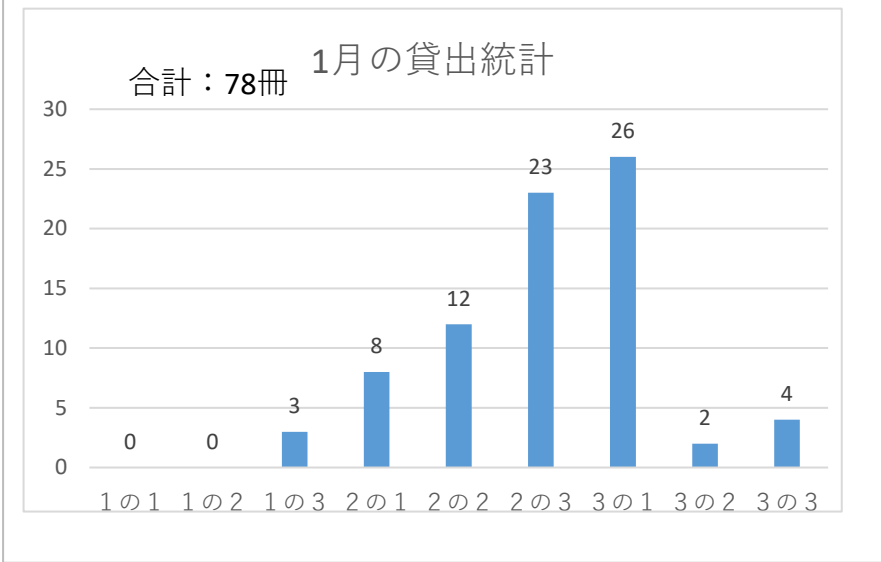
石路 拡本版

つわぶき

第10号

平成30年2月6日
発行
島根県立
津和野高等学校
図書館

貸出統計



へ祝！1000冊達成！

1月の貸出数は合計78冊となり、4月から1月までの合計貸出数が、年間目標の1000冊にちょうど到達しました！まめに本を借りに来てくれる人、時折ふらりとやってくる人などいろいろですが、皆さんのおかげで、ここ数年來目標としていた「年間1000冊」が、なんと3月を待たずに達成できました、ありがとうございます！多くの人が来て利用してくれるような図書館を目指したいと思いますので、今後も図書館をよろしく願います！



全国高校ビブリオバトル大会

1月28日、早稲田大学にて全国高校ビブリオバトル大会が行われました。3年1組の山本日和さんが島根県代表として出場し、見事、ゲスト特別賞(優勝・準優勝に次ぐ賞)を受賞しました！おめでとうございます！1年生の頃からビブリオバトルに挑戦してきた山本さん、最後に素晴らしい結果を残してくれました。読売新聞に掲載された山本さんの記事は、昇降口「津高生の活躍」コーナーに掲示しています。また、紹介した本『天陽の塔』(朱川湊人/著)は図書館にありますので、ぜひ見てみてくださいくださいね。ビブリオバトル大会はまた来年も行われます。図書館では、山本さんに続き、ビブリオバトルに挑戦したいという人を待っています！

新刊案内

- 少しですが、新刊が入荷しましたので紹介します。
- ・ 天間はだまされる フェイクニュースを見分けるには』
三浦準司/著 070ミウ
 - ・ 財政から読みとく日本社会』
井手英策/著 S342イデ
 - ・ 石見銀山を読む』
鳥谷芳雄/著 S562トヤ(寄贈)
 - ・ 『ミルク日記』 チーム・ミルクジャパン/著 596チム (寄贈)
 - ・ 『だゆたえども沈まず』
原田マハ/著 913ハラ
 - ・ 『司書になるには』
森智彦/著 013シシ
 - ・ 『警察官になるには』
宍倉正弘/著 317シシ
 - ・ 『消防官になるには』
菅原順臣/著 317スガ

(出張図書館に置いてあります。手続きをして借りてください。)



新聞千エック

〈人手不足〉5割超える(1月4日中国新聞より)

中国地方の主な企業を対象にした中国新聞社の調査で3日、現在の人員を「不足」とする企業が5割を超すことが分かった。この10年で最も高く、うち6割が時間外労働の増加など「業務に支障が出ている」と答えた。人手不足が、地域経済の大きな課題となっていることを示した。人手不足への対応策は「業務の効率化」と「採用活動の強化」が8割近くを占めた。シニアや女性、外国人の活用を進める動きも広がっており、問題解消に向けた試行錯誤が続いている。

首相 年内改憲発議に意欲(1月5日山陰中央新報より ほか各紙掲載)

安倍晋三首相は4日午後、三重県伊勢市で年頭記者会見に臨み、憲法改正の早期の国会発議実現に意欲を示した。「今年こそ、憲法のあるべき姿を国民にしっかり提示し、改憲に向けた議論を一層深める。自民党総裁としてそんな1年にしたい」と述べた。年内発議を視野に入れた発言。野党に具体的な改憲案提出も呼びかけた。北朝鮮が強行する核・ミサイル問題に触れ「従来の延長線上でなく、国民を守るために真に必要な防衛力強化に取り組む」と強調した。

羽生・井山氏に国民栄誉賞(1月6日朝日新聞より ほか各紙掲載)

将棋で史上初の「永世七冠」を達成した羽生善治氏(47)と、囲碁で2度目の七冠独占を果たした井山裕太氏(28)への国民栄誉賞の授与が5日、正式に決まった。棋士の受賞は初めて。菅義偉官房長官は記者会見で「歴史に刻まれる偉業を達成し、多くの国民に夢と感動を、社会に明るい希望と勇気を与えた」と授賞理由を述べた。

北朝鮮 五輪参加を表明(1月10日山陰中央新報より ほか各紙掲載)

韓国と北朝鮮は9日、南北軍事境界線上の板門店の韓国側施設「平和の家」で、2年1か月ぶりとなる南北当局者会談を開いた。北朝鮮は韓国・平昌冬季五輪に参加すると正式に表明、両国は五輪成功のため積極協力し、北朝鮮が高官級代表团や選手団を派遣することなどを盛り込んだ共同報道文を採択した。

広がるAI 期待とリスク(1月7日朝日新聞より)

膨大なデータを元に、人間の能力をはるかに超える速度で答えをばじき出す人工知能(Artificial Intelligence) AI。その活用は、自動運転をはじめ、医療や金融、畜産業や創作に広がりつつある。一方で、AIの急成長に社会が追い付かず、雇用や個人の尊厳への影響が懸念されている。AIは近年、大量のデータを元に、機械が自ら特定のパターンを見つけ出すことで、人の顔を見分けたり、人間の次の行動を予測できたりするようになり、一気に広まった。こうしたAIの広がりによって、雇用が奪われるという懸念も出ている。英オックスフォード大と野村総合研究所は、10〜20年後に日本の労働人口の約49%がAIやロボットなどに置き換えられる可能性がある」と推計している。

今ナギ稚魚 大不漁(1月14日中国新聞より)

絶滅危惧種ニホンウナギの稚魚シラスウナギが今期は極度の不漁で、国内外での漁獲量が前期の同じ頃と比べて1%程度と低迷していることが13日、複数の関係者の話で分かった。漁は4月ごろまで続くが、このまま推移すれば過去最低の漁獲量となりかねない。資源保護のため来年のワシントン条約締約国会議で国際取引の規制対象とするよう求める声も高まりそうだ。減少は河川の水質悪化や乱獲が原因とされるが、海流や海水温によって回遊量や時期が変動することもあり、詳しいことはわかっていない。

成人式 18歳だと困る?(1月7日朝日新聞より)

政府は22日から始まる通常国会に、成人年齢を18歳に引き下げる民法改正案を提出する方針だ。18歳が成人年齢になったら、1月の「成人式」は大学受験と重なり、参加者が減ってしまう。晴れ着姿の若者たちを見る機会は減ってしまうのだろうか。成人年齢引き下げに伴い、年度中に満18歳になる学年を対象にすると、大半は高校3年生で成人式を迎えることになる。1月は大学受験直前の生徒も多い。文科省の担当者は「より多くの人が参加できるよう、各自治体で判断してほしい」と話す。

